

磐城時報

編輯 藤田文郎
印刷 磐城印刷局
發行所 磐城石城郡平町新屋町十四
電話 一四〇
郵便 磐城石城郡平町新屋町十四
第一局掛金 一月三圓 三月九圓 半年一五圓 一年三〇圓
廣告料 一行一十四字 一月五圓 三月一五圓 半年二五圓 一年四〇圓
日刊 (日曜、祭日) 休刊

警銀預金配當

本年中は見合せ

漸やく十萬圓を回収したが、
之では五分にも當らぬ

平町警城銀行の破産管財人漆畑二日審査を終え褒賞授與式を舉
永野兩辯士は目下整理中で三行したが、入賞者左の如くであ
丁目の本店敷地建物を一萬二千つた。

▲一等 荒川庄平、柴田喜續、
▲二等 植田武雄、加藤邦廣、加藤勤
▲三等 白土忠雄、柴田喜續、
▲四等 植田武雄、加藤邦廣、加藤勤
▲五等 植田武雄、加藤邦廣、加藤勤

農産物品評會

褒賞授與式

飯野村では去る十日から同村小石城郡第二區小名濱校外十一校
學校に於て小學兒童、村農會聯の教員は十四日午前九時勿來小
合農産物品評會を開催中の處士學校に至り授業を參觀する。

鮮魚商發起の義捐金

一千二百圓を突破

一兩日中に關係者に分配

平町一丁目藤原、二丁目魚沼、多く既報の如く一千圓を突破し
藤市、三丁目阿部源、四丁目三更にその後の分として左の如く
國屋、外敷氏發起にかゝる石城奇附があり總計一千二百十三圓
海岸方面遭難漁船關係者の慰問となつたので募集を締切つた、
金募集は計劃を發表して以來前寄附金は小名濱、江名、豊間、
記各氏等連日奔走の結果共鳴者四倉各町村役場を通じ船主に五

全町を戸別訪問して

同情金を集める

平町では既報の如く十日から執
行される同情週間に押迫つた
年末に際し衣食に困り病魔にお
そはれた等憐れむべき人々を救ふ
ため救済資金募集の計劃をたて
ゝゐたが、左の日割で共済委員
區長、青年團員等が各方面を訪
問し兼て配布しておいた同情袋
を集める事になつた。

▲一丁目、二丁目、三丁目
▲四丁目、五丁目、六丁目
▲七丁目、八丁目、九丁目
▲十丁目、十一丁目、十二丁目
▲十三丁目、十四丁目、十五丁目
▲十六丁目、十七丁目、十八丁目
▲十九丁目、二十丁目、二十一丁目
▲二十二丁目、二十三丁目、二十四丁目
▲二十五丁目、二十六丁目、二十七丁目
▲二十八丁目、二十九丁目、三十丁目

大野消防檢閲

村消防組の秋季檢閲は十二日午

村消防組の秋季檢閲は十二日午
九時より同村小學校に於て行
三郎、鷹崎千代、四倉屋、平つたが成績良好であつた。

植田の火事

字岩間字岩下農阿部覺太郎方

字岩間字岩下農阿部覺太郎方
ら十日午後十時頃火住家一棟
及び物置を燒き十一時半鎮火し
たが損害六百圓である。

朝鮮駐屯兵が

郷里の遭難者に寄附

豊間村大字薄磯出身朝鮮駐屯兵
兵第七十四聯隊第十一中隊第三
班高木琴治氏は十一日江名町役
場に左の如き書信に二圓五十錢
を添ひ遭難漁夫弔慰金として寄
附した。

鎌田遊廓で遊興

盗んだ時計を抵當に

當時住所不定無職伊達郡茂庭村
大字黒澤生れ鎌田善四郎(二八)
は十日午後八時頃平町南町團子
屋鈴木辰藏方に忍び入銀側時計
一個を窃取しその足で鎌田町遊
廓甲子崎に登樓二圓五十錢の遊
興費の抵當に右銀時計を置いて
立去つたが、十一日平署に捕は
れた。

勤続した小使さんに

勿來町で百圓を贈る

勿來町役場小使仙さん事藤田寅
之助氏は十四年勤続し村民から
可愛がられてゐたが、此程退職
したので赤津村長は村民から百
圓を集め慰勞金として贈與した
團より支出して貰ふことになり
近く上京主務省に陳情すること
になつた。

御挨拶

本日七五三の御祝に日頃御引

立の御禮として縣社子銀倉神
社々前に於て粗末ながらおよ
ろこびのしるしに千歳幣を差
上ましたところ初めてのこと
で豫定に不足を生じ御進呈も
れの方もありませんが、不慮御容赦
願います。就きましては明年は
是非皆様に差上げることに致
したい考で御座います。一寸
右御挨拶迄

川前地内の

夏井川築堤

石城郡夏井村上流に位する川前
赤井、上下小川各村では年々洪
水季になると夏井川氾濫で附近
の被害が多額に上るので豫ね

大浦村出生死亡

大浦村に於ける十一月三十日迄

大浦村に於ける十一月三十日迄
の出生、死亡、婚姻左の如し
出生二十二、内男九人、女
十三人、死亡男二人、婚姻七

踏み倒す

石城郡大野村玉山湯の澤旅館石

石城郡大野村玉山湯の澤旅館石
屋草野又藏方へ去る一日から
平町南町油販賣業時澤牛之助
として十日迄宿泊した三十五六
歳の男が十一日午前二時頃無断
で逃走したので調査した處平町
に該當者がないので詐欺と判り
四倉署に訴え出た、四倉署で
犯人嚴探中である。

給食開始

内郷村では村内欠食兒童に給食

内郷村では村内欠食兒童に給食
の計劃であつたが、該當者五
名の調査がすんだので十二日
跡矢島トリ長女イッ(一七)はさ
から給食を開始した。

▲流浪中死亡 宮城縣栗原郡神入平生れ鈴木吉太郎は約六年前フトした動機から現在十四歳の長男喜一、十歳の二女カツ、八歳の二男賢一の三兒を抱へ妻コイン(現在三五)と夫婦別れし、その吉太郎はカツと賢一の二兒を連れ諸所を轉々して乞食同様の生活を續けてゐるうち不衛生が原因で大阪に辿りついたときは既に身動きならぬ行旅病者となつて市の病院に收容されたが、この程死亡したので同市役所では遺見二人のため母コインの行衛を捜索中のごとこ

胃腸 専門 内科
十二指 腸胃病 腸胃病 腸胃病
婦人病 淋病 皮膚病
村松 院 醫科
【番七〇一話電】 町南町平

の程に至り漸く石城郡内郷村大字宮のある炭礦に遷炭婦となり長男喜一と共に居住してゐる事が判明したので八日平署にカツ賢一の引取方を依頼して来た。
▲肥料代を拂はぬ
石城郡好間村中好村字川中子作農務特直義は昨年四月東京市下谷區千束町金光堂こと吉村留五郎方より豆粕十二圓分を買受け今に至るも支拂はないので吉村より十一日平署に直義の説諭方を依頼して来た。

生命保険の相談所
○保険料立替 ○證券擔保貸付 ○失効解約請求手續と同時に受取金立替 ○復活手續き保険料立替、保険料の拂込の期間は六日後二ヶ年経過するご解約返戻金一厘も取れなく時効となりまますから早く手続きが必要です。
當所は會社と契約者との中間に立ち最も迅速に、最も確實に、最も善良なる相談相手として皆様の御用命を期待して居ります。
石城郡鹿島村(江尻中方)
秋山保険相談所支店

タクシー界の寵兒
皆様の昭和!!
いつも新車にて御目見得致します
倍舊の御最負と御聲援願ひます
平 驛 前
昭和タクシー!
電話三四三番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科専門
病室完備...自炊の便あり
平町南町 **大和田醫院**
電話一七〇番

外科 花柳病科 専門
平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

油と味噌
山崎合名會社
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
平町五丁目角
山野邊藥局

かまぼこ
折詰仕出し
御惣菜用とつよ揚、吉原揚
平町二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五番

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

磐城共濟病院案内
院長 醫學博士 石山謙郎
自宅電話一二四番
小兒科 醫學博士 石山謙郎
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 佐久間重次
喉科皮膚科 醫學士 有馬勇二郎
産婦人科 醫學士 五十嵐雄二
X光線科 醫學博士 石山謙郎
衛生試驗所 技師 石山謙郎
藥局 藥劑士 高本孝平
◎診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず
平町 **磐城共濟會**
電話六四一番

處方調劑 藥品一般 体温計
郷土生藥研究 和漢藥療法
東華皇漢研究所
顧問 藥學博士 柳澤秀吉先生
藥劑士 山野邊東次郎

貨切御用命
ゼヒ 三井自動車部へ
電話六八五番
乗合は 好間・合戸・澤渡方面行